

建交労 ひかれい

2022年8月号

発行：建交労 No.221

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

じん肺健康管理手帳をお持ちの方は早急にご相談!

アスベスト じん肺 にむか 産業

無料 労災職業病相談会

労災請求は退職後でもできます

日時 7月27日(水)午前10時～正午まで
 *コロナ感染対策を徹底し受付順に個別相談をいたします。
 *当日ご都合の悪い方は28日(木)に電話相談OK(AM10:00～12:00)

場所 笠原中央公民館・会議室(2)
 多治見市笠原町2081-1

仕事が原因の病気は、労災保険が適用されます。

労災が認定されると、休業賃償(超過時の賃金の約80%)と治療にかかる費用が支給されます。
 厚生年金(国民年金を受けていても休業賃償は支給されます)。
 「労災申請したけれど離しちゃう。申請する方法も分からなー」という声もよく聞きます。
 選ばれには全国で6,000名を超える労災患者が結果しています。
 県内でも100名以上が加入し、これまで300名以上の方が労災認定を受けました。

こんな症状でお困りの方じん肺が原因かもしれません。

風邪でもないのに「咳ごむ」「痰ができる」「痛くと息苦しい」
 こんな職場で奮ひじんが
 実習(原料の混合・成型・仕上げなど)
 建設業(電気工事、内装工事、配管、人工、土質、防水工事、建物解体など)

「肺結核」「肺気腫」「間質性肺炎」と言われたことがあります。
 石棉を原因とする病気
 肺かん
 石肺
 ひまん(胸膜肥厚)
 良性石綿肺水溶液ブラーク

お問い合わせ先 建交労 全日本建設交通一部労働組合
 岐阜労災職業病相談センター
 TEL 051-4234 郡上市八幡町五町1丁目4-15

0120-661-224 FAX 0575-67-2101 E-mail norin921@soleil.ocn.ne.jp

笠原町 健康相談会のチラシ

相談会について東濃分会議でも検討し、組合員のみなさんに「健康相談会のご案内」カードを、知り合いや友達に渡してもらうことになりました。この日の相談会ではカードを持参された方はみえませんでした。この日の相談会では被災者への声がけを全組合員で取り組んでいきます。

相談会について東濃分会議でも検討し、組合員のみなさんに「健康相談会のご案内」カードを、知り合いや友達に渡してもらうことになりました。後日、個別でお会いする予定です。

候が重なり、事前に問い合わせいただいた2名の方は当日来所出来なくなりました。



相談会場 笠原中央公民館

健康相談会紹介カードを活用して

7月27日(水)、笠原中央公民館で「労災職業病無料相談会」を開催しました。新聞折り込みで周知しました。昨年、東濃地区で新しく組合員になつた方のじん肺管理区分申請を行つたところ、3名の方が管理区分4の決定でした。窯業が盛んな東濃地区は、

じん肺患者が多くみえます。離職後、じん肺が重症化しても労災制度について知らなかつたと言われる方もあり、組合に加入したときは最重症のじん肺という例も少なくあります。当組合の活動を知らせることが大切だと痛感します。

コロナ感染の急拡大と悪天

じん肺患者が多々みえます。離職後、じん肺が重症化しても労災制度について知らなかつたと言われる方もあり、組合に加入したときは最重症のじん肺といふう例も少なくあります。当組合の活動を知らせることが大切だと痛感します。





岐阜地裁前での宣伝行動

7/13 神岡鉱山じん肺3陣訴訟 第3回弁論 三井金属鉱業 またしても文書提出命令の申立て

7月13日、岐阜地裁304号法廷において「三井金属神岡鉱山じん肺第3陣訴訟」の第3回弁論が開廷しました。日程の都合で小法廷となつたため参加人数を制限。原告、家族会、支援する会などあわせて21名が駆けつけました。

被告は3陣訴訟でも1陣・2陣訴訟と同様に、原告の医療記録やレントゲン・CT画像の提出を求めました。

3陣原告6名のうち4名は1陣原告でした。1陣訴訟時よりじん肺が進行し、4名中3名はじん肺死、1名は新に合併症を発症しました。じん肺は進行する病で現在の医療では治すことはできません。1陣訴訟ですでに医療記録等が提出されているにもかかわらず、被告は一律に全員の提出命令を申し立てたのです。

けました。

弁論開始まえに裁判所玄関まえでチラシを配布しながら宣伝行動を行いました。

被告は3陣訴訟でも1陣・2陣訴訟と同様に、原告の医療記録やレントゲン・C

T画像の提出を求めました。

3陣原告6名のうち4名は1陣原告でした。1陣訴

訟時よりじん肺が進行し、

4名中3名はじん肺死、1

名は新に合併症を発症しま

した。じん肺は進行する病

で現在の医療では治すこと

はできません。1陣訴訟で

すでに医療記録等が提出さ

れているにもかかわらず、

被告は一律に全員の提出命

じん肺が良くなるとでも主張したいのでしょうか。

原告側は「争点を明らかにしたうえ、争点に関連する必要な文書に限定」するよう意見書を提出しました。

この日の弁論で、裁判長は安全配慮についてまだ争

は、原告側の意見にそつて

9月末までに提出を求める

ものを絞るように指示しま

した。

安全配慮義務違反につい

ても同様にこれまでの判決で明らかになっています。

もはや安全配慮義務違反

の有無を争う余地はありません。ところが被告はこれ

も争点として準備書面を提

出しました。

三井金属鉱業には、神岡

鉱山のじん肺問題を解決しようとする姿勢がまったく見られません。こうした企業だからこそ利益最優先でそこで働く労働者の命と健康をないがしろにしたに違ひありません。

弁論後、岐阜県弁護士会館で報告集会を開催しま

した。水本原告団長は「被告

は安全配慮についてまだ争

うという。腹が立つ。早期

の解決を全力で目指す。支

援をお願いする」と訴えま

した。岐阜県労連の岸幹事

は「この闘いの終結を一日

も早く見たいと思う。被告

は引き延ばしのために医療

記録を求めた。こうした会

社の姿勢を改めさせる運動

をみんなでつくつていこう」と激励しました。

第4回弁論は10月12日となります。

7月15日 福井地裁 第一回口頭弁論



記者会見にて団結ガンバローを行いました

7月15日、福井地裁にて第一回口頭弁論が開廷されました。原告16名のうち10名が参加しました。原告・弁護団・支援する会など4県からコロナ禍で人数を制限し、原告16名のうち10名が参加しました。原告・弁護団・支援する会など4県から

コロナ禍で人数を制限し、原告16名のうち10名が参加しました。原告・弁護団・支援する会など4県から

7月15日、福井地裁にて第一回口頭弁論が開廷されました。原告16名のうち10名が参加しました。原告・弁護団・支援する会など4県から

ら合わせて約50名が駆けつけました。

裁判長から提出書面の確

認後、麻生弁護士がじん肺被害の要約を陳述しました。

その後、被害ビデオを視聴しました。「生きているのがこんなに辛いとは思わ

なかつた」と声を絞りだすように伝える姿、夜間の咳の発作に布団に横たわることも叶わず全身であえぐ姿を、裁判長は真剣な面持ちで見入っていました。

弁論終了後、福井弁護士

会館で報告集会を行いました。坪田弁護団長は「今日

の弁論はじん肺被害の悲しさを訴える特に大事な日。力の入った法廷だった。被害ビデオは何回見ても辛い。裁判長はよく見ていた。」と話しました。内藤寛治原

て、再度じん肺の恐ろしさを実感。進行していくことなど考えると落ち込むばかりだ。

コロナ感染予防のために、原告全員が出廷できなかったのが残念。早く全員で裁判に参加したい。解決まで応援を」と引き続き支援を

求めました。全国の情勢を富山分会の橋本書記長が報告し閉会しました。

第3回期日は9月2日、第4回期日は11月14日となりました。

全国労職部会 第24回総会開催

7月22日、全国労職部会第24回総会が建交労中央本部の会議室にて開催されました。

今回も煙中が参加。感染防止の観点から一日だけの開催となり、更に会場参加

が限定されたためZOOMでのオンライン参加となりました。

総会で各組織からの発言の時間が設けられ、岐阜も発言をしました。発言では

去年の9月と今年の3月で飛騨、高山にて電話相談会

を行つたが組合員の獲得に至らず、コロナ禍での相談

会は相談者を増やすどころか開催すら難しいと苦しい現状を述べました。また、

三井金属神岡鉱山じん肺訴訟の報告として、2陣が最高裁の判決待ちであることと3陣が去年提訴し、今年

7月に第3回弁論が開かれることについても発言。3陣の訴訟では5月の弁論では建交労労職部会の闘争本部長である森國副部会長に激励の挨拶を頂いたことに

お礼を述べました。

2022年7月の活動報告

7/5	第6回執行委員会	@郡上市文化センター
7/8	神岡じん肺訴訟 原告団会議	@古川町中央公民館
7/13	神岡じん肺訴訟 第3回弁論	@岐阜地方裁判所
7/15	トンネルじん肺根絶訴訟第2回弁論	@福井地方裁判所
7/17	国民救援会飛騨支部定期大会	@高山市民会館
7/20	東濃分会	@笠原中央公民館
7/21	読影依頼	@佐藤町診療所
7/22	全国労災職業病部会第24回総会	@リモート参加
7/27	健康相談会	@笠原中央公民館
7/28	振動障害検査	@光陽クリニック

2022年8月の予定

8/1	新規検査	@長森さのクリニック
8/2	第7回執行委員会	@郡上市文化センター
8/4	神岡じん肺訴訟 弁護団会議	@リモート参加
8/6	なくせじん肺キャラバン実行委員会	@リモート参加
8/10	神岡じん肺訴訟 原告団会議	@古川中央公民館
8/25	神岡じん肺訴訟 詩歌本部会議	@郡上市文化センター
8/31	トンネルじん肺根絶訴訟第2回弁論	@東京地裁

7月22日に『ライブアライブ』というゲームが発売されました。元々は1994年に発売されたゲームでしたが、リメイクという形で改めて作られ発売されました。この作品は7(+1)人の主人公たちの物語で織りなされ、キャラクター・デザインを名探偵コナンの作者である青山剛昌さんやおぼつちやまくんの小林よしのりさんなどが担当されていることでも有名です。

初めてこの作品に触れたのは自分が小学1年生の時でした。近所のお兄ちゃんが遊んでいるのを見ていたのが初めての出会いです。当時RPGの王道と言われたドラゴンクエストとは一線を画す物語やシステムに感銘を受けました。自分をゲーム人間に堕とした作品の一つです。

RPGなのに短編集、いわゆるオムニバスのように、西部劇、幕末、原始時代、そしてSFと異なる舞台や時代の話で形成されています。しかし、全ての物語を終えるとそれらは意外な形で繋がり、そして一つの物語に帰結していきます。30年経つても色あせない作品をまた堪能できる。そしてそれらを知らない今の人たちも当時の作品に触れ自分と同じ衝撃を味わってもらえる。そのことにとても感動しています。

ただ浮かれてお高い限定版を買ったため今日も今日とて金欠です。

編集委員 畑中

編集後記